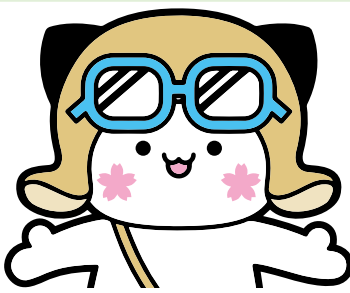


まちの魅力
再発見

あみっぺ

が行くその⑩

後方支援学校 武器科部



こんにちは、あみっぺです！
3月23日から阿見町にある「陸上自衛隊 武器学校」の名称が「後方支援学校 武器科部」に変わったんだって。今回は、広報援護班の金谷さんに施設の案内をしてもらえることになったよ！

ぼくと一緒に
「後方支援学校 武器科部」の見学に行ってみよう！

後方支援学校 武器科部って、 何をするとところなの？



土浦駐屯地ホームページ

陸上自衛隊の後方支援に係る教育及び研究体制を強化するため、武器学校、需品学校、輸送学校を統合し「陸上自衛隊後方支援学校」を朝霞駐屯地に新設しました。この際、武器学校は後方支援学校の下部組織として編成され「後方支援学校 武器科部」と名称変更しました。後方支援学校武器科部は、陸上自衛隊の装備する戦車、装甲車などの車両、小銃、機関銃、火砲などの火器、誘導武器、弾薬などの補給・整備教育及び不発弾処理・鍛造溶接などの技術教育並びに幹部自衛官の運用教育を引き続き実施していきます。



後方支援学校 武器科部にはどんな施設があるの？

かほうかん 火砲館

旧陸軍や自衛隊で使われた大砲・山砲・野砲などの火砲・火器が展示されている屋内施設です。旧軍時代の砲や説明パネルなどで、火砲の歴史や構造を間近に見ることができます。

(見学方法) 月曜日を除く平日のみ見学可能。土浦駐屯地広報援護班へ連絡、土浦駐屯地ホームページ(上記二次元コード)より申請書を取り2週間前までに事前申込が必要。



砲の重さを体験できるコーナーを発見！
あみっぺも重さを感じたよ！

さんしきちゅうせんしゃ 三式中戦車

太平洋戦争期に日本陸軍が開発・運用した中戦車で、映画・アニメで人気の高いモデルもあります。実物車両が展示されており、戦車の歴史や構造を学べます。(見学方法) 月曜日を除く平日のみ見学可能。土浦駐屯地広報援護班へ連絡、土浦駐屯地ホームページより申請書を取り2週間前までに事前申込が必要。

こんなに近くで戦車を
見られるんだ！
あみっぺも興奮したよ！



しょうかき 小火器コーナー

拳銃・小銃・機関銃などの小火器を集めた展示コーナーです。戦国時代の火縄銃から近現代の自衛隊装備まで、国内外の銃器が数多く並び、約170丁程度の実物火器を見ることができます。

(見学方法) 3か月に1回の開放日に見学が可能。土浦駐屯地広報援護班へ連絡、土浦駐屯地ホームページより申請書を取り2週間前までに事前申込が必要。



あみっぺ、零戦などに
装備された九八式射爆
照準器を体験!

おくがいてんじそうびひん 屋外展示装備品

陸上自衛隊が装備する新旧戦車および榴弾砲等が展示され迫力ある姿をご覧いただける展示広場があります。また、米軍旧戦車も展示してあり戦車ファンには絶大な人気があります。



ゆうしょうかん 雄翔館

昭和43年(1968年)に開館した施設で、旧海軍飛行予科練習生(予科練)に関する遺書・遺品などの歴史資料を展示・保存しています。

(見学方法) 予科練平和記念館開館日、9:30から16:30まで自由に見学可。



ゆうしょうえん 雄翔園

雄翔館前にある庭園・記念碑エリアで、予科練関係の慰霊碑や庭園が整備され、散策しながら歴史を感じられる場所になっています。

(見学方法) 予科練平和記念館開館日、9:30から16:30まで自由に見学可。



今回ぼくが案内をもらった場所は、みんなも見学することができるよ! ぜひ見学に行ってみてね!



土浦駐屯地 春の一般開放

駐屯地の桜並木の美しい風景とともに、広報地区に展示してある戦車・榴弾砲・装甲車など自衛隊装備品の見学が楽しめるイベントです。今年は4月5日(日)に行われました。

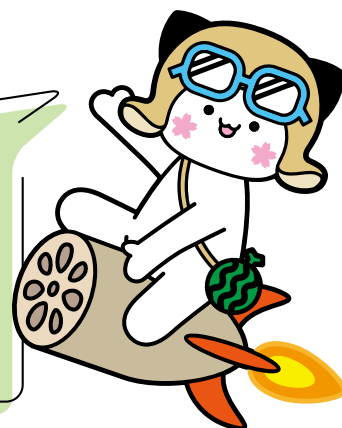


みんなも来年、ぜひ行ってみてね!



【住所】
茨城県稲敷郡阿見町青宿 121-1

今回は、特別に町民討議会にも行ってきたよ。次のページで紹介するよ!



まちの魅力
再発見

あみっぺ が行くその②

阿見町町民討議会



こんにちは、あみっぺです！

今回は、
「阿見町町民討議会」に行ってきたよ！

町民討議会を運営している実行委員さんや、
町民討議会に参加してくれた参加者のみなさんにお話を伺ったよ！



町民討議会ってなあに？



町民討議会は、世代や職業を超えて集まり、まちづくりに関するテーマについて話し合う場です。無作為に抽出された2,000人の町民に案内を郵送し、興味のある方に参加いただいています。町民討議会の目的は、「たくさんの町民が参加し、その経験を地域でも活かしてもらおうこと」、「町民が地域のことを考えるきっかけとしていくこと」、「地域リーダーの育成に繋げていくこと」です。この町民討議会は、過去の討議会参加者やボランティアスタッフを中心とした、「阿見町町民討議会実行委員会」が主体となって運営しています。



実行委員会の様子

実行委員会に参加し、委員長さんにインタビューしました。

Q: 実行委員をやってみようと思ったきっかけは？

A: 長年阿見町に住みながら、仕事は東京で、地元の活動に関わっていませんでした。3年前、町民討議会に参加したことをきっかけに町の取り組みを知り、町のために何が出来るか考えるように。より深く関わりたいと実行委員に手を挙げました。

Q: どんな討議会を目指していますか？

A: 参加者一人ひとりが積極的に意見を出し、町にとって役立つ討議が行われる場を目指しています。そして、その声が町の取り組みに反映されることを期待しています。

Q: そのためにどんな準備をしていますか？

A: 活発な討議が行われるように、事前にテーマについて学び、意見が出にくい場合の話題も用意しています。当日は実行委員同士で連携し、各班から多様な意見を引き出せるよう工夫しています。全体の流れや時間配分にも配慮し、円滑で実りある討議会となるよう心がけています。



委員長 阿部 行雄 さん



今回のテーマについて

今回のテーマは、「公園をもっと使いやすく、魅力的にするには？」です。

町民が公園をより身近に感じ、積極的に活用したくなるための方策について話し合うことで、公園への関心を高め、活用の促進につなげることを目的として、このテーマを設定しました。

討議会の前半では、「町の公園を利用して感じる良い点と、利用しにくい理由・課題」について意見を出し合い、後半では、「公園を活用したくなるためのアイデア」について、どうすれば公園が使いやすく、魅力的になるかを話し合いました。



町民討議会当日の様子

討議会の流れ



現状や課題について付せんに書き、話し合いながら模造紙に貼る。



現状を良くするアイデアや課題を解決するアイデアを付せんに書き、話し合いながら模造紙に貼る。



班の意見をまとめて、発表する。



参加者のみなさんにインタビュー

Q1 なぜ参加しようと思ったんですか？

Q2 参加してみてどうでしたか？



にしだて かずよ
西館 和代さん

A1 2年前に阿見町に引っ越してきたばかりで阿見町のことをあまりよく知らないで、顔を見ながら阿見町のことについてお話しできればと思って参加しました。

A2 同じ阿見町でも住んでいる場所によって感覚が違うんだなと感じました。阿見町全体を俯瞰することができてよかったです。



ふじた ゆうり
藤田 悠羽里さん

A1 高校生会の呼びかけで知り、公園や都市計画というのは知識がありませんでしたが、気になったので参加しました。

A2 同じグループの方がそれぞれの専門としていることについてお話を聞くことができ、いろいろなことを教えていただきました。



さいとう ひろつぐ
斎藤 博嗣さん

A1 (無作為抽出で) 当選しました。農業や林業の仕事をしているので、普段から「緑」に関わっており、地元阿見町にも貢献できればと思って参加しました。

A2 さまざまな方が参加しており、まさに「多様性」の時代を感じました。話しやすい雰囲気でき取り組みについて話し合うことができ、非常に良い経験となりました。

実行委員長さんの総評

活発な議論がなされ、有意義な時間となりました。「実りの多い討議」となったので、ぜひ町の施策に反映していただきたい。

町民1人1人がまちづくりの主役であるという意識を持って、積極的にまちづくりに関わることが、よりよい町につながると考えています。参加者が今後地域でも活躍してくれたらうれしいです。



討議会のその後

参加者から寄せられた意見について、実行委員会が結果報告書としてとりまとめ、町へ提出します。町は、意見に対する回答を作成し、結果報告書とともに町のホームページで公表するとともに、よりよいまちづくりに向けて、参加者の皆さまからいただいた意見を活用させていただきます。



次は7月号通常版で
会おうね!

